



呼吸を合せて ジャンボ縄とび大会

「NHK健康フェアと町民健康のつどい」が6月19日、鷹巣体育館を会場に開催されました。広場では、20人構成の第1回ジャンボ縄とび大会が行われ、子供13チーム、大人5チームが3回の合計数で競いました。見た目よりむずかしく、優勝は子供の部で綴子子供会182回、大人は綴子走友会79回。ちなみに最下位は1回でした。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

5月31日現在	(前月比)
総人口 24,484人	(21人減)
男 11,909人	(5人減)
女 12,575人	(16人減)
(出生 24人 転入 37人)	
(死亡 19人 転出 63人)	
世帯数 7,286世帯	(増減なし)

6月定例議会行政報告



63年6月定例町議会は、6月20日から28日まで9日間の会期で開催されました。

議会は初日に町長の行政報告と提出議案の大綱質疑が行われ、各常任委員会に付託されました。22日には一般質問、23日から各常任委員会が開かれ付託議案等を審議、28日に本会議を開いて閉会しました。町長が述べた行政報告の概要は次のとおりです。なお決定した議案等は次回広報で報告します。

町民待望の 企業進出決まる

〔企画調整課関係〕…企業誘致については、これまで精力的に誘致活動を進めてまいりましたが、この度、東京都板橋区に本社のある三立電機株式会社が一〇〇%出資し、現地法人「秋田サンリツ」として立地することが決定しました。女子型企業ですが、特に若年者の地元雇用拡大に結び付くものとして大きな期待を寄せています。

大太鼓の里については、自治省所管の「まちづくり特別対策事業」の採択にメドがついたことから用地の取得造成をはじめ、実施設計の検討に入っております。日本一大太鼓をメインに、多目的な性格と機能を兼ね備えた広域観光の中核施設として建設促進を図っております。

昨年実施した「職員一人一提言」一八八件を集約した「クオリティ・タウンの創造」を発行しました。今年度は職員の自主性と提言の実現化をめざして、より具体的に町おこしの方向を探ってまいりたいと考えております。

東京鷹巣会については、母体となる各地域会の結成を重点に進めてまいりましたが、旧鷹巣地区を最後に七地区すべての地区会の結成をみるに至りました。今年十月開催予定の「東京鷹巣会設立総会」にむけて、会員の掘り起こしに努めるとともに、この会をふるさと意識の高揚と相互協力精神の醸成、更には、東京・鷹巣間の情報源として位置づけたいと考えております。

町史編さん事業は、先の資料編一、二に続いて、本編第一巻、第二巻の発行にこぎつけました。来年三月発行予定の別巻（民俗編）をもって、昭和五十八年から着手してまいりました合併三十周年記念町史編さん事業はすべて終了することになります。



足腰の強い農業経営をめざす！

六十三年度地籍調査事業は、大野台地区（横溝、中屋敷、脇神、堂ヶ岱、川口、小ヶ田）を中心に、面積五八八^ハ、四五^ハ、三、五七六筆、地権者二九〇人を対象に実施する計画であり、すでに関係者への説明会を終えて、六月二十一日から現地調査に入る予定であります。

植樹祭、今年は

ベニキリシマツジを植栽

〔農林課関係〕：今年の田植えの進捗状況は平年より一日遅れでしたが、五月二十三日以降低温傾向に推移し、六月十三日現在の生育状況は平年比一週間遅れと見込まれており、初期生育と茎数確保のため適切な水管理等、基本的技術指導を農協とともに図ってまいります。

二市四町に及ぶ北鹿畜産基地建設事業は農用地開発公団により事業が推進されますが、当町の実施計画箇所については、畜産農家の意見を徴しつつ、草地、放牧地としての適切な工事がされるよう、県及び公団と協議中であります。

第三期山村振興事業として申請の糠沢多目的集会施設の建設が採択内定いたしました。

町の宣伝、活性化への一翼を担うべく、漁業組合と企画しております「全日本レディスあゆめ釣り大会」の成功に願いをこめて、今年もアユの稚魚を小猿部川と米代川に十二万匹を放流しました。

鷹巣農免農道整備事業をはじめ、農道、排水対策、圃場整備、農村モデル事業等、県営、町営、団体営各事業ともすべて採択が内定しました。

大野台地区総合農地開発事業は東北農政局により調査第二年度に入り、近日中に関係集落への説明を行い開発意欲の喚起と地域の意見集約に努めてまいります。

農業施設災害復旧事業（六十二年災）は四月十五日に発注し、春の農作業に支障なく一五カ所すべて完成しました。

第六回町植樹祭は、四月二十五日慶祝森林自然公園で行われ、西小学校新入学児童、父兄、老人クラブ、林業関係者など一五〇人の参加のもとに、ベニキリシマツジ二〇〇本を植樹しました。また、同自然公園はその大部分を県が事業主体となり生活環境保全林整備事業として整備中ですが、本年度は歩道道約三き、各種樹木一・七^ハを植栽予定であります。中央公園ともども町民の憩いの森林公園として活用されることを願っております。

〔保健課関係〕：春の全町クリーンアップは、四月二十四日早朝に道路・河川・側溝の清掃等、主に公共用地を対象に実施し、一六三団体、三、八四〇人の参加を得て、六七^ハ余りのゴミを収集しました。

保健事業については、地域保健の担い手である保健

補導員並びに結核予防婦人会指導員大会を開催し、本年度の具体的な事業計画の推進について協議研修を深めるとともに「子どもの食べ物と健康」の記念講演を行いました。

献血事業は、今年度の目標一、二九五本（一本二〇〇^ミ）となり、献血推進協議会を開催するなど、目標達成に努めております。

狂犬病予防法に基づく予防接種、登録は、四月二十八日現在四八六頭の実績となり、今後も接種もれのないよう指導してまいります。

各種検診事業は、疾病の早期発見、早期治療をメドに町内医療団体等の協力を得ながら、婦人科検診は五月一日から、胃検診は六月十五日から延べ五〇日間の日程で予定しております。

国の重点事業となった虫歯予防については、乳幼児、幼・保育園児及び父兄を対象とした指導徹底に努めております。

〔税務課関係〕：昭和六十三年年度の町民税、固定資産税、軽自動車税の調定額は次のとおりです。

▽町民税Ⅱ納税義務者九、八二七人、調定額五億九千八十五万円
▽固定資産税Ⅱ納税義務者九、四四五人、調定額六億七千二百五十六万四千円
▽軽自動車税Ⅱ納税義務者七、七三一人、一千八百六十三万五千元、六十二年度徴収実績は次のとおりです。

▽町民税Ⅱ収入額五億九千四百四十二万円（収入率九・七三^ハ）
▽法人税Ⅱ一億四千五百六十三万九千九百（一〇〇^ミ）
▽固定資産税Ⅱ六億五千六十四万七千円（九八・五七^ハ）
▽納交付金Ⅱ五千二百一十一万一千円（一〇〇^ミ）
▽軽自動車税Ⅱ一千七百八十五万一千円（九・八七^ハ）
▽たばこ消費税Ⅱ一億五百八十八万四千円（一〇〇^ミ）
▽電気税Ⅱ六千二百七十八万二千円（一〇〇^ミ）
▽木材引取税Ⅱ三百八十七万九千円（一〇〇^ミ）
▽保険税Ⅱ五億三千五百四十九万三千円（九六・〇四^ハ）

〔町民課関係〕：春の防火週間の期間中綴子川河川敷において、消防団員及び婦人消防隊によるポンプ操法と消火訓練を実施し、団員の実践的能力の向上と地域住民の防火思想の高揚につとめました。

また、五月二十六日の県民防災の日には、日本海中部地震を教訓に町民の防災意識の高揚と有事にそなえ保育園の施設で避難並びに火災防止訓練を実施。

春の交通安全運動では、期間中「みんなで育てよう交通マナー」と思いやり」をテーマに交通安全の普及啓発に努めるとともに、米代町通りを会場に交通安全まつりを実施し、交通事故防止をよびかけました。

中央公園桜まつりは

好天に恵まれる

〔商工課関係〕：昭和六十二年度の湯ノ岱温泉利用状況は、稼働日数三四二日、利用者五四、二〇五人（前年比一一〇％）で、一日平均一五八人となっており、うち町外利用者は九、六一三人でした。

中小企業振興資金制度（マル鷹融資）利用状況は、七三件、二億六千八百九十三万円、利用残高一六〇件、三億八千八百四万円となり、預託額に対し三・八八倍の利用となっておりです。

出稼ぎ互助会の加入状況は、四一七人で前年より一九人の減となっております。

「中央公園桜まつり」は、四月二十九日から五月五日まで七日間の日程で開かれました。今年是不用の電話ボックスを工夫して水槽をつくり、中央公園に生息する雷魚など数種類を紹介したところ大きな関心と話題をよぶなど、期間中の人出は、好天にも恵まれおよそ一八、〇〇〇人で賑わいをみせました。

「第四回ふるさと踊りと餅つこ祭り」は、六月四日銀座通りを歩行者天国にしての前夜祭、五日は本番の

踊りと餅つこ祭りを開催し、鷹巣音頭の踊りパレード、鷹の舞、太鼓フェスティバル、漫談ショー、エアロビクスなどで二日間のお祭りムードを盛り上げることができました。

こ十年程と覚えておりました鷹巣・比内両町による「竜ヶ森山開き」を開催し、夏山登山の安全祈願を行いました。

〔建設課関係〕：六月十五日現在における工事発注件数は三三件、五六・五割の発注率となっております。今年四月より五月にかけての融雪による河川被害箇所十二件、三千五百万円は七月査定に申請しております。

一〇五号バイパス事業の用地交渉の状況は、掛泥地内より七号線までの地権者五九人中二六人、四四割の契約を完了しております。また、都市計画街路事業では、二二人の関係者のうち二〇人が解決し、残る二人も調査を完了しております。

小猿部簡易水道事業は

八月着工の予定

〔水道課関係〕：上水道事業の経営につきましては、六十二年度決算において、一千五百八十二万四千円の純利益を上げることができ、未処分利益剰余金を一千六百十八万円とする決算状況であります。また、加入状況では三、一八八件、給水量では九一四、二五六立方メートルとなり、公営企業経営の基本原則及び独立採算制の趣旨に添うところになりました。

一方、簡易水道事業につきましては、量水器更新業務七三〇件の実績をもつて給水条件整備と給水効率の向上に努めております。

また、六十三、六十四年度の二カ年に及ぶ小猿部地区簡易水道事業については、これまでに事業経営認可

を受け、現在実施設計業務に傾注いたしているところであり、八月着工を目的に給水加入促進とともに取り組んでいるところであります。

〔教育委員会関係〕：四月四日に始業式、入学式を行った各小中学校は、運動会、修学旅行なども無事に終了し、現在は夏の各種大会を目指して努力しているところ です。

体育施設関係では、町営野球場の暗渠等を整備する改修工事が完了、勤労者プールは屋根の補修とろ過機を更新し、鷹巣競技場は管理棟の増築工事中であります。六月は各種大会や行事が多く、五日には全県都市対抗陸上競技大会が行われ、二十四日から二十六日までは若人三〇〇人が参加して東北高等学校バトミントン大会、二十五日、二十六日は高松宮杯県予選野球大会が開催されます。また、NHKと共催で十九日には、NHK健康フェアと町民健康のつどい、二十日はラジオ体操講習会、二十六日は趣味の園芸とテレビでおなじみの講師を招いて行われます。

〔秋田内陸線関係〕：秋田内陸線については、昨年社屋の新築、新車両の入線など営業改善に向けて努力してまいりました。第四期（六十二年四月～六十三年三月）の営業実績は、乗客人員九二七、〇〇〇人、収益総額二億七千五百八十七万二千円で、税引後の損失は七千二百二十九千円で、この損失は当初見込みの七二割となっております。当町としても、六十四年四月の全線開通までには、中岱地内に新駅建設の計画を立てており、乗降客の利便と確保に努める所存であります。〔広域市町村圏組合関係〕：広域ゴミ処理施設については、坊沢字大野宮後地内に決定し、用地面積三〇、五九一平方メートルの買収はすでに完了、今秋から工事に着手し、六十五年三月竣工予定であります。本工事は（株）ユニチカと十一億二千万円で仮契約を結び、七月開催の広域組合議会定例会で正式契約のはこびとなっております。

七日市工業団地に企業進出！

十月操業開始

町では昨年九月「町工場設置促進条例」を全面改正し、七日市工業団地に、県と連携しながら精力的に企業誘致を進めてきましたが、東京板橋に本社がある三立電機株式会社の進出が決定しました。同社は、通信機器やプラスチック偏光板などを生産しており、誘致企業に熱い期待がよせられています。

六月二十日、出川町長は町民待望の企業誘致を発表しました。

当町に進出する企業は、通信機器・部品やプラスチック

偏光板・カラーフィルターの製造をしている三立電機株式会社（昭和十四年十二月創業、資本金一億円）で、本社は東京都板橋区にあります。

同社は、昭和十四年十二月に資本金十五万円、十四人の体制で日本変圧器工業（株）の

同社の製品カタログ



名称で創立。二十年十月に社名を現在の三立電機（株）と改称。三十一年トランスジスタ用小型トランスの開発により、ラジオ・テープレコーダーの製造販売に着手。欧米への輸出開始。三十八年プラスチック偏光板を開発。五十三年液晶用偏光板の国内及び、輸出市場

を拡大し、品質、供給能力とともに業界唯一のメーカーとなる。六十年日本電信電話（株）との共同研究によりコンピュータ、医療機器など、精密機材に使用されているノイズフィルタ及び、ノイズプロテクトトランスを開発。六十一年ボタン電話機などに使われているトランスの月産能力三百万個生産体制を確立するなど、通信機器、プラスチック偏光板のパイオニアとして、名声を博しています。

工場は、本社工場のほかに埼玉県川越市に川越工場（電源トランス・電源装置製造）、東松山市の高坂工場（小型トランス製造）、栃木県藤岡町の藤岡工場（プラスチック偏光板製造）の三工場があり、従業員は五百四十四人（男二百七十五人、女二百六十九人）となっています。

また、現地法人組織として昨年十月に、岩手県水沢市の水沢工場（小型トランス製造）

が操業を開始しております。同社の昭和六十二年度の総売上額は、百二十九億六千八百万円、特にアメリカ及びヨーロッパ各国への輸出額は、六十一年度七億五千四百万円、六十二年度は、十一億二千三百万円と大きな伸びを見せています。

冷暖房完備の新工場十月スタート

三立電機（株）の当町への進出方式は、現地法人方式で法人名は「株式会社秋田サンリツ」（仮称）、資本金は三千万円（百割三立電機（株）出資）。工場用地は七日市工業団地で、町有地の大半を占める一万九千平方メートルを町より取得し、第一期工事は七月中に着工して、九月までに工場及び付属施設（鉄骨平家建五百九十四平方メートル・冷暖房完備）を建設し、十月より暫定操業に入り、明年四月より本格的な操業が開始されます。

労務計画及び生産計画によると、生産品目は、通信機器用各種トランスで、十月の操業時は二十人（男五人、女十五人）でスタート、目標生産額は六千万円。本格的な操業



工事着工を待つ七日市工業団地

となる来年四月からは四十人体制（男八人、女三十二人）で三億円の生産額を目標とします。三年度目になる六十五年四月からは八十人（男十五人、女六十五人）で、六億二千四百万円の生産計画となっています。

当町の誘致企業は、昭和三十一年操業開始の昭和化学、四十一年ガクヤ被服、ハリマヤ、四十七年秋田寝装センター、四十九年クラウン精機の五社で、従業員総数三百六十人となっており、十四年ぶりの企業誘致に、町民から大きな期待がよせられています。

鷹巣町史本編が完成

第一卷・第二卷同時發行

本編は「第一巻」（原始古代、中世、近世、近代）、「第二巻」（現代）からなり、鷹巣町を知る貴重な史書として注目されています。二巻ともA5判の六五〇ページで、概要は次のとおりです。

◇原始古代―藤株の新文化到来、擦文文化と農耕作物、くるみ館遺跡、小勝田（小ヶ田）埋没家屋、天神の埋没家屋
◇中世―浅利氏の下向とその支配、戦国時代と秋田地方、鷹巣地方の城館
中世における鷹巣町の集落と農民

◇近世の藩制と地方（農業、学問、芸能文化）、三大飢饉



首切編

・権太郎

◆最終版第三巻
(民俗編、年表)
昭和64年3月
発行予定

区域史(鷹巣、柴坊沢、七座、綴子、七日市、沢口)
◇近代(終戦まで)――大小区制、戸長役場、郡役所、町制施行、若勢組、青年団、隣組部落会、町内会、教育の沿革戦時下の動き
〔第二卷〕
◇現代(終戦後)――戦後の動乱、農地改革、大火と町づく

り、合併、新生鷹巣町、社会動向、産業経済、教育と文化

◇ ◇ ◇

町では、希望者に頒布していますが、先の資料編と併せて、セットでの購入を期待しています。

▽頒布価格

○本編第一卷 二五〇〇円
○本編第二卷 二五〇〇円
(資料編は(一)、(二)とも各五〇〇〇円)

▽頒布場所

すでに予約済の方、これから注文される方は、左記まで申し込みください。

○役場企画調整課（公六二）
一一一（内三三六）

本編の ▶
内容 (縮小)

■1日(水) 鷹巣阿仁広域市町村圏組合臨時議会議出席
 ■3日(金) 町老人クラブ連合会総会に出席。
 ■4日(土) 郡町村会臨時総会外鷹角線北口期成同盟会総会、大館北秋公共事業促進協議会にそれぞれ出席。
 ■5日(日) 第四回ふるさと踊りと餅つこ祭り。昨夜来の雨と肌寒い風に一抹の不安があつたが、まずまずの天気となり、婦人らの手踊り、大太鼓のパレード、太鼓フェスティバルなど、例年以上の盛り上がりを見た。この日第四十一回全県郡市対抗陸上競技大会が、鷹巣陸上競技場で盛大に開催、選手四百人余りが三十四種目に熱戦を繰り広げた。
 ■9日(木) 町の国営総合農地開発事業(大野台)促進協議会総会を開催した。
 ■10日(金) 秋田鹿角短絡線建設期成同盟会理事会(鹿角市)に出席。また、某

氏後援会出席の越智建設大臣との懇談会が大館市で行われ、郡市の建設関係事業等の懇請をした。

■11日(土) 町の国保運営協議会を開催した。

■13日(月) 国民年金委員(五十人)に委嘱状を交付(任期二年)。同委員は、国民年金制度に対する理解を深めるため、保険料の納付促進、被保険者の適用促進、地域住民の相談などを

日誌
出川禮
6月1日~15日

受ける方々である。

■14日(火) 秋北新聞一万号記念祝賀会。大正末期に孤々の声をあげ、戦時中一時休刊、戦後日刊紙として再刊以来この六月十一日で一万年号となった。この間、主として鷹巣阿仁地域の様々な情報の提供をはじめ、地域の政治、行政、経済、教育、文化等に大きく貢献をなし今日に至った。地元の新聞として絶ゆまない発展を希って祝辞を述べた。



所長

出川
袖
一

6月1日~15日

医療機関での検診は7月7日～22日まで

40歳以上の方は受診を

一般健康診査と大腸ガン検診



がん、脳卒中、心臓病、高血圧症などの、いわゆる成人病による死亡が、総死亡の六五％近くを占めているといわれております。

町では、四十歳以上の方がたを対象に、老人保健法にもとづく一般健康診査を、ことしも実施します。私たちの健康を守るために、多数の受診

をおすすめします。

また、大腸ガンは最近二十年の間に約二倍と急速に増え、鷹巣町でも昨年のガン死亡の部位別で胃ガン、肺ガンに次いで高い死亡率となつていま

す。

大腸ガンの検診は、他町村にさきがけて六十一年度から行つていますが、ことしは、一般健康診査とあわせて実施します。

一般健康診査

■診査内容

問診、聴打診、血圧測定、総コレステロール、肝機能検査、尿検査、また、医師が必要と判断した方には心電図検査、眼底検査、糖負荷検査などの精密検査があります。

※ただし、高血圧や心臓病、糖尿病、肝臓病などで現在治療中の方、勤務先で定期健康診断を受けている方は受診の必要はありません。

大腸ガン検診

■検診の内容

便潜血反応検査（検体塗布紙に便をうすく塗り、便の中に混じっている目に見えない

血液を化学反応で検出する方法）で陽性となった方は精密検査となります。

検査期間と負担金等

一般健康診査、大腸ガン検診とも医療機関での受診は、

▽七月七日～二十二日（土、日曜日を除く）までです。

▽検診負担金（検査料）は、一般検査が一〇〇円、精密診査は六〇〇円、大腸ガン検査

は二〇〇円です。（ただし、七十歳以上の老人、生活保護世帯は無料です）

▽一般診査を受ける方は、朝食または昼食をたべないで受診してください。（大腸ガン検診のみの方は、食事制限はありません）

集団検診での受診は、八月一日～九月二十二日までの結核検診とあわせて行います。

検診医療機関名

医療機関名	電話番号
白田産婦人科医院	62-1148
近藤医院	62-1263
佐藤外科消化器科医院	62-1420
佐々木産婦人科医院	63-0105
鷹巣病院	62-1210
としま内科医院	62-1267
奈良医院	62-1146
藤原医院	62-2882
北秋中央病院	62-1455
盛岡外科医院	62-1101
戸嶋産婦人科医院	62-1123

七月は

「愛の血液助け合い運動」です

ご協力ください！

町民健康のつどい

健康スペシャル

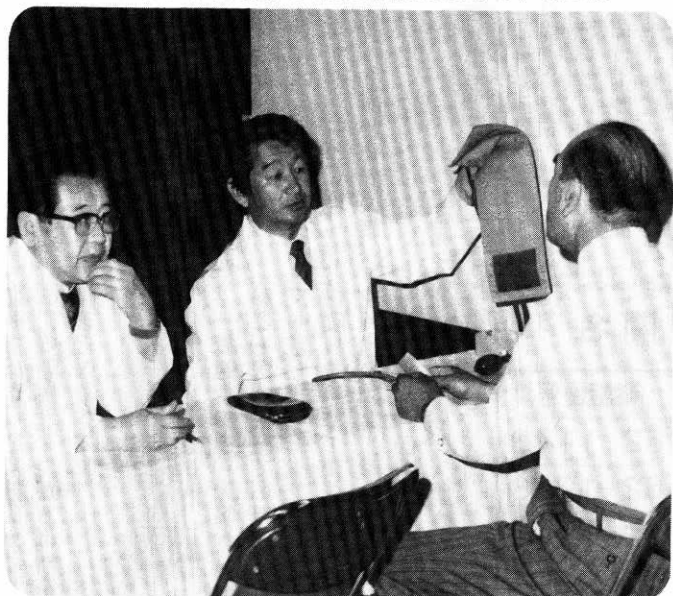
八千人が快汗！

NHKの「おはよう健康スペシャル」(月・金・朝八時半～九時半)の公開録画が、六月十九日鷹巣体育館で収録され、好天にも恵まれ、会場は身動きできないほどの盛況でした。
駐車場でのジャンボ縄とび大会を皮切りにフェアが開始され、テレビでおなじみのじゃじゃまる、ぴっころ、ぼろりが登場すると人垣ができるほどの人気ぶり。また、子供たちによる郷土芸能も披露され、盛んな声援が送られていました。



▲この顔、に子供たちは大喜び。3回のステージともごらんのとおり超満員

▼町医師会も大活躍。気軽に相談に応じていました



▼サブ体育館では「虫歯予防ポスター展」や体力測定が行われ、限界に挑戦する子供でいっぱい



少年に愛の一声を、

～青少年を非行からまもる全国強調月間～

7月1日～7月31日

実施事項

■町民の非行防止意識の高揚

■地域における非行防止

■青少年を取り巻く社会環境の整備

■青少年相談活動の強化

鷹巣警察署・鷹巣地区少年保護育成委員会・鷹巣町防犯協会



▲インストラクターに合せ、シェイプアップする300人の婦人たち。テレビを見ていとあって、なかなか堂に入っています

NHK健康フェアと

おはよう



メイン会場の体育館では、健康相談、コンピュータ診断などのコーナーも大賑わい。ステージ側半分では、公開番組として午前に、鶴見大学・大森教授の講演、午後からは「さわやかシェイプアップ」が収録され、インストラクターの指導で快い汗を流していました。

町民八千人が参加した健康フェアの様子は、六月二十四日朝八時半から全国に放映されました。

◀郷土芸能では今泉の駒踊り、前山奴踊り、綴子下町獅子踊りのほか、根子番楽、本城の棒術が披露された

▼「自分の歯で食べたい人に」の講演には500人が参加。健康の元は歯であることの認識を深めた



農業技術テレホンサービス

鷹巣農業改良普及所では、農業技術情報のテレホンサービスを行っております。7月の放送予定は次のとおりですので、ご利用ください。

- 7月2日～8日 夏の食生活について
- 7月9日～15日 穂肥及び葉いもち対策について
- 7月16日～22日 いもち病、紋枯病の防除について
- 7月23日～29日 秋野菜の作り方について
- 7月30日～31日 出穂期の水管理

62-0029番



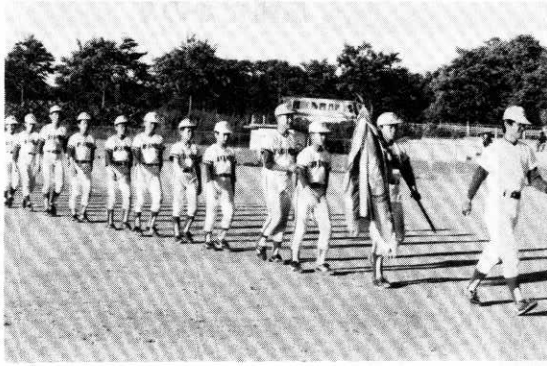
第十七回 町内小学校野球大会
第二十九回 町内小学校バレーボール大会

《テーマ》 白球に力を合せて深めよう友情を

鷹巣、三年ぶり 八度目の優勝

野球大会は、六月十四日と十五日の二日間、町営球場で行われました。

児童たちは、雪消えから猛練習を重ねてきただけあって、実力の拍印した好ゲームの連続に、つめかけた応援席から盛んな声援が送られました。決勝は、三年ぶり八度目の



優勝をねらう鷹巣と、勝てば初優勝の南との対戦になりましたが、前半に得点し、総合

力にまさる鷹巣が、後半、南の反撃を三点に押え、八度目の優勝を飾りました。

〔一回戦〕

▽東9―8西 ▽中央15―8

綴子(五回コールド)

〔準決勝〕

▽南7―2東 ▽鷹巣8―2

中央

〔決勝〕

南	0	0	0	0	0	3	0
鷹巣	2	1	1	1	0	0	×
						5	3

鷹巣、九年 ぶりの優勝

バレーボールは鷹巣体育館で六月十四日に行われ、A・Bブロックで予選リーグのあと決勝トーナメントがあり、鷹巣、東、綴子、西の四校が進出しました。

決勝は、鷹巣と西の対戦となりましたが、連けいプレーにまさる鷹巣がストレートで



勝ち、九年ぶりの優勝を飾りました。

〔予選リーグ〕▽Aブロック

▽鷹巣2―1西 ▽西2―0

中央 ▽鷹巣2―0中央 ▽

Bブロック ▽綴子2―0南

▽東2―1南 ▽綴子2―1

東〔決勝トーナメント〕

▽鷹巣2―0東 ▽西2―0

綴子

〔決勝〕

鷹巣	2		
15	15		
11	12		
		0	西

「農事講演会」

■日時 7月6日(水) 午後2時より

■場所 鷹巣阿仁広域交流センター

■講師 農学博士 三枝敏郎氏
(土壌生物研究、植物探検、園芸)

■演題 『試練が問われるこれからの農業』
※農業関係者だけでなく、大野台農地開発に関心のある方など多くの聴講を歓迎します。

■主催 大野台地区国営総合農地開発事業促進協議会

第9回 たかのす町民号

江差町交流と青函博の旅

～青函トンネル、本場江差追分、函館EXPO'88～

■期 日 7月17日(日)～18日(月)

■募集人員 180人

■費用 28,500円

■行程 7/17 鷹巣＝江差(江差追分会館
7:50 14:10

にて交流会)＝湯の川①
17:00

7/18 湯の川＝函館EXPO'88
8:00 9:30

函館～青森＝鷹巣
14:15 連絡船 18:05 20:50

■申し込み JR鷹巣駅営業センター

☎ 62-1158

おしらせ



税務職員募集

人事院・国税庁では、税務職員（税務大学校生）を募集しています。

受験資格は昭和四十三年四月二日から昭和四十六年四月一日までに生れた人で、試験の程度は高校卒業程度です。受験申込受付期間は七月六日から七月十三日までです。申込用紙の請求及びくわしいことについては次のところにおたずねください。

大館税務署総務課（☎〇一八六―四二一〇六七）

老人の精神衛生
相談室を開設

鷹巣保健所では、老人性痴呆、疾患など、老人の精神衛

生に関する相談室、一般健康相談室を開設しました。

医師、保健婦が直接相談に応じますのでご利用ください。

▽精神衛生相談 七月十三日、二十七日（午後一時～二時三十分）

▽一般健康相談 七月十四日、二十八日（午前九時～十一時）

▽場所 鷹巣保健所

婦人科、胃集団検診
の結果通知について

町で実施しております婦人科検診、胃集団検診の結果通知は、異常のない人には通知いたしません。

受診した日から一カ月を経過しても通知のない人は、異常のない人ですのでご了解ください。

なお、再検診者には個人通知いたします。

自衛官を募集

自衛隊では、二等陸海空士の募集をしております。（来春高卒見込者）

受験希望の方、詳細を知りたい方は、役場町民課（☎六二―一一一―内線一二二）または、自衛隊大館出張所へお

問い合わせください。

鷹巣町の募集相談員は、次の方が委嘱されていますのでお気軽にご相談ください。

▽畠山孝一さん（☎六三―〇四五―）

▽堀部哲秀さん（☎六六―二八八―四）



〔道路改良工事〕

▽工事場所 七日市字葛黒岱地内

▽請負額 五千六百七十四万円

▽請負者 津谷、秋田、三協建設共同企業体・代表 津谷栄七

▽工事期限 十月三十一日

▽工事場所 七日市字吉ヶ沢岱地内

▽請負額 一億一千三百万円

▽請負者 堀井、丸栄、芳賀建設共同企業体・代表 堀井三治郎

▽工事期限 十一月三十日

〔道路維持工事〕

▽工事場所 綴子字中堤地内

▽請負額 七百七十万円

▽請負者 丸栄建設・山内千代治

▽工事期限 八月九日

▽工事場所 綴子字古閑地内

▽請負額 六十三万五千円

▽請負者 三浦組・三浦堅司

▽工事期限 七月十一日

夜間当番医（夜間診療）の日程表

（午後6時30分～9時）

7月	曜日	医療機関名
1	金	藤原医院
2	土	盛岡外科医院
3	日	佐々木産婦人科医院
4	月	鷹巣病院
5	火	戸嶋医院
6	水	戸嶋産婦人科医院
7	木	近藤医院
8	金	北秋中央病院
9	土	奈良医院
10	日	佐藤外科消化器科医院
11	月	藤原医院
12	火	佐々木産婦人科医院
13	水	戸嶋医院
14	木	戸嶋産婦人科医院
15	金	盛岡外科医院

胃集団検診日程表

（午前5時30分～7時）

月日	曜	検診会場	対象地区
7 1	金	吉沢会館	下舟木、吉沢、深沢品類
4	月	蟹沢会館	蟹沢
5	火	上舟木生活改善センター	上舟木
6	水	七日市基幹集落センター	中畑、妹尾館、岩脇、横瀬
8	金	〃	本郷、根木屋敷、吉野
11	月	小森会館	小森
12	火	太田児童館	太田、高野尻
13	水	〃	太田
15	金	中屋敷会館	中屋敷
18	月	沢口林業センター	脇神、上野

お気軽にご相談ください 生きがい学習への手助けを

生涯教育奨励員は15人



親子読書講座

最近の企業の進歩はめざましいものがあります。昔は「日進月歩」で形容される程度の速さでしたが、コンピュータなどの高度技術（ハイテク）では「時進分歩」とまで云われる時代になってきました。二年前の知識は古くて役に立たないといった声も聞かれます。もう学校時代の学習だけでは追いついて行けない状況のようでもあります。

一方、戦後の経済を支えてきた方々は、子育ても終え、平均二十年の老後の生活に突入する高齢化社会も目前です。

生きがいがあることだけだった多くの高齢者の方々も「心と体」のやすらぎを求めている。余儀なくされて参りました。いわゆる「生涯学習」の時代であります。

鷹巣町の生涯教育は県内でも早く、十七年の歴史を刻み意欲的な学習者が年々増加しています。

すぐれた体験や知識、技術をもっとおられる方々も町内に潜在しておられるので「相互に学び合う」という仲間やグループが生まれてきたことは、すばらしいと思います。一人一人が豊かに生きていく

ため学び続け実践している方や、これから学びたい方々のお手伝いするのが生涯教育奨励員であります。今年度もすぐれた奨励員に恵まれ意を強くしています。

どんな小さいことでも気軽にご相談下さい。

生涯教育奨励員は次の方がたです。

- ▽宮野雄治〓松葉町（六六二一二二六五）
- ▽村上八重子〓南鷹巣（六六二一三五一七）
- ▽佐藤強治〓高野尻（六六二一九四一九）
- ▽九島レイ子〓材木町（六六二一三三三〇）
- ▽神成博〓新田中（六六二一九六二五）
- ▽長崎八重子〓東横町（六六二一〇五五一）
- ▽永井永治〓伊勢町（六六二一〇五六八）
- ▽小林玲子〓松葉町（六六二二一九八）
- ▽堀部まり子〓葛黒（六六二二八〇五）
- ▽戸嶋信男〓住吉町（六六二二二六七）
- ▽宮腰茂〓品類（六六二二九九二）
- ▽相馬智子〓あけぼの町（六六二二二八一六）
- ▽松尾秀一〓太田（六六二四七五八）
- ▽今立明〓前野（六六三一〇六八）
- ▽野呂節子〓緑ヶ丘（六六三〇三七〇）

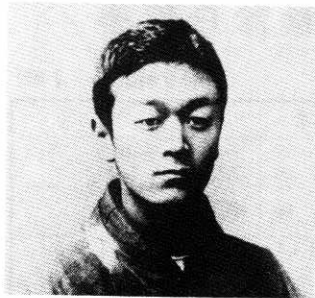
ふるさと人物伝

ないとう 内藤 湖南

一八六六—一九三四

日本の偉大なる東洋史学者内藤湖南（本名虎次郎）の綴子小学校長時代のこと。が今、大学の研究者たちの注目を浴びている。

慶応二年、毛馬内に生れた虎次郎は、四年制の秋田師範を二年半で卒業。教育に情熱を傾ける若き綴子村長高橋武三郎の初任給一〇円（普通は七円）という破格な待遇による招きに応じて着任したのは明治一八年一〇月二十九歳であった。



彼はまず校舎を狭くなった郷倉から、広い肝煎邸に移転、先生方には新しい教授法を伝える。野外採取や歴史物語等も教えていた。教え子たちは「先生は叱らなかつたが、にらめられるとこわかつた」と語る。

下宿は宝勝寺門前の三沢彦十郎宅で、北向きの暗い八畳の部屋に、毎晩子供達が遊びにきた。彼はお菓子を馳走しながら、新しい時代のことを語り、時には英語を教えた。時には英語を教えた。その中から、後の大人物、高橋本吉、佐藤徳治（大主教頭）高橋宇一郎（県議）がでる。彼は宝勝寺から、成唯識論、碧巖録など難しい本を借りて読み、思想的な影響をうけ明治二〇年九月上京する。村長は銭別として一円を与えるが、彼は後日これに礼状を添えて返してよ

す。

新聞記者から、中国史研究家となり、京都大学教授、同名誉教授となる。昭和八年没六九歳（資料、内藤湖南顕彰会誌・秩父威仙氏の文）

文責 長崎 久



満身の力をこめる

七座、坊沢、栄、七日市地区で6月12日に恒例のさなぶり運動会が行われ、汗ばむ陽気の中、農繁期の疲れを吹き飛ばしていました。各地区とも趣向を凝らした種目が目白押しで、縄ない競争、ドジョウつかみ競争や茶わん2杯分もあるおにぎりと牛乳を飲む米消費拡大競争など。メインのつな引きは、応援団にも力が入っていました。

6月18日、県予選を兼ねた「鷹巣地区交通安全こども自転車大会」が中央公民館分館で開催され、町内より5校8チームが参加して、学科と実技のテストに挑戦。実技ではミニ信号機などを使い、安全確認・合図など基本動作を中心に採点し、結果は、個人で中央小6年戸沢吉徳君、団体では竜森小チームが5年連続の優勝を飾りました。

竜森小、5年連続の優勝



あったかプールにどうぞ

秋田気象台は、6月9日梅雨入りを宣言しましたが、今のところカラ梅雨模様。町営プールには夏を待ちきれない「豆カッパ」で賑わいを見せています。改修工事で今年は6月10日にオープンしており、開館時間は、平日1時～8時（水曜日は

1時～5時）休日は10時～5時。プールの水温は28度に保たれており、温泉気分の水泳が楽しめます。

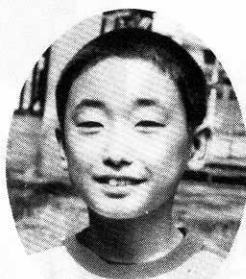
「ラジオ体操で健康な一日を」と、6月20日鷹小グランドでNHKラジオ・テレビ体操でおなじ

みの長野信一さんの指導のもと、トレパン姿の老若男女200人が参加。ピアノの伴奏に合わせて思いっきり体を伸ばし、朝の空気を胸いっぱい吸い込んでいました。教育委員会では、7月1日から9月30日まで、朝のラジオ体操を実施いたします。

ラジオ体操で一日のスタートを



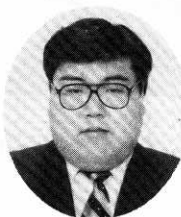
の広場



東小学校
佐藤 久 範くん(4年)



「先生、セミないでらー」
国語の授業中、窓ぎわの子どもが叫んだ。もう、そんな時期になったのかと驚きました。
四月以来無我夢中で、季節の移り変りに気をとめる余裕さえなかったのです。「今日は



伊勢町
五代儀 基(25)

今月のテーマ「社会人一年生」

十八の瞳にかこまれて

こんなことをしよう「明日はこんなことをして子どもを喜ばしてやろう」などと、私の頭の中には、その日の子どもとの接し方だけしかなかったのです。

教師には、見習いという期間がないのです。採用されれば一人前の教師として教壇に立たなければなりません。私は、残念ながら一人前の力はありません。今、少しずつ、他の先生のよいところを学んで、真似しているところです。十八の瞳にかこまれて、毎

対談 わたしたちの意見



柄 付 鏡

(昔の婦人のお化粧などに)

江戸時代中頃から、柄付鏡は婦人化粧用として重宝され、その鏡背には絵画的な図案が多く描かれている。昔の婦人のお歯黒をする時などにも使用し、昭和の初め頃までその風習が残っていました。

(松葉町・佐藤 富雄氏)



埼玉県新座市・山 本 キ ヌ(52歳)

目に浮かぶ、ふるさとの様子



坊沢から桂瀬に嫁ぎ、主人の転勤で東京の住宅住まいを六年、その後埼玉に移り住んで十八年、もう鷹巣を離れてから二十五年目にもなります。

ここ新座(にいざ)市は池袋から電車で三十分、人口十三万人、武蔵野の自然に恵まれた緑豊かな町です。市の中心部にある野火止平林寺は、松平伊豆守の菩提寺として有名で、武蔵野の

坊沢出身者による初めてのふるさと会が、東京池袋で開催されました。出席された方々は、七十歳から二十歳まで四十五人余、語らいはつぎず終了予定時刻を二時間以上もオーバーする程の盛り上がりようでした。次回には、もっと多くの方々に出席して戴くように願っております。

今年の里帰りを、指折り数えているこの頃です。
※坊沢上町・永井清さんの姉です。

東小学校
三浦美幸さん(3年)



みんな

日を精一杯がんばり、少しずつでも成長していけたらなあと思う今日この頃です。

銀行員としての誇り



旭町 小塚 有子(18)

私が社会人となつてから、早くも三ヶ月が過ぎ、今、夢にまでみた銀行員として、働いております。

入社当初の私は、何をすることも緊張の連続で、妙にかしこまりすぎ、本当の自分が出せなかったり、何度も同じミスをし、仕事の流れがなかなか

つかめず失敗、失敗の毎日だったような気がします。その上世間知らずが重なり、本当に銀行員という責任重大な仕事に勤まるのかと、自分の能力に不安を感じ早くも挫折しました。でも、今では「自分で選んだ仕事なのだし、そう簡単には入社することのできない職場なのだから、もう少し誇りと感謝の気持で頑張らなくては」と思うようになりました。

社会人として一歩踏み出したばかりですので、いろいろつまずくと思いますが、それ乗り越え、一日も早く立派な社会人になれるよう努力したいと思っております。

発散していることによります。

この物質は、人間の神経を鎮静化したりする働きがあり、また、木の緑も安らぎを与えてくれる効果が注目されるようになったのです。

フイトンチッドは放散しやすいので、木が覆いかぶさるようになっている深い森がいいといわれています。

さあ、みなさんも森林へ出かけ、緑のシャワーを体いっぱい浴びてみよう。

森林浴

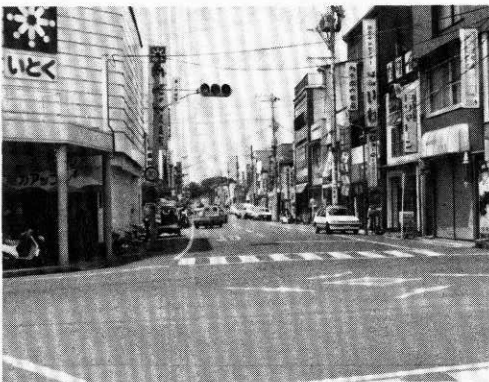
最近流行の三浴というのは、

温泉浴、日光浴、それに森林浴のことです。

木がたくさんある所に行く、いい香りがし、すがすがしい気分になります。これは樹木が害虫などから自分を守るために、葉や芽からフイトンチッドという特殊な物質を

広報ののり

昭和27年頃の大火復興直後の松葉町の家並で、道路を隔てた左側が大火で焼失、右側が難をのがれたところである。松葉町は明治から大正にかけ松林に囲まれ、料亭が立ち並ぶ町の繁華街であった。拡幅された道路には松が残っており、町名の由来をほうふつとさせる。(七日市・佐藤勲重氏提供)



たかのすの昔

あしらせ



一線美術会運営委員 九島素二氏

七月の健康相談

七月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は十三日と二十七日です。時間は午前十時から午後三時までです。

血圧測定のほか尿検査、体重測定など、午後は慢性病予防教室で、十三日心筋梗塞の予防、二十七日動脈硬化予防(第三回)について行います。場所は中央公民館保健相談室です。

リハビリ学級は二十日です。在宅脳卒中後遺症の方を対象に、錠ヶ関保養センターで研修観察を行います。時間は八時四十分まで役場前に集合してください。

四カ月児健康診査は二十六日です。

対象は六十三年三月生まれのお子さんです。小児ガンの早期発見の検査もしますので必ず受診してください。受付時間は午後一時から一時三十分までです。

離乳食指導と七カ月児健康相談は二十六日です。

対象は六十二年十二月生まれのお子さんです。受付時間は午前九時三十分から十時まで、母子健康手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。

三歳児健康診査は二十一日です。

対象は六十年五月、六月生まれのお子さんです。受付時間は午後零時三十分から一時まで、母子健康手帳、問診票

をお持ちください。
※場所はいずれも鷹巣保健所です。

母子健康手帳 交付と妊婦教室

妊婦を対象とした、母子健康手帳、妊婦教室などの日程は次のとおりです。

●母子健康手帳交付と第一回妊婦教室(必ず本人がおいでください。)

▽日程 七月四日、十八日

▽受付時間 午後零時三十分から一時(終了時間三時)

▽妊婦教室内容 妊娠中の栄養、母乳栄養、母子健康手帳の使い方、映写、むし歯予防

▽持参品 印鑑、歯ブラシ

●第二回妊婦教室

▽日程 七月十四日

▽時間 午前十時から午後三時まで

▽妊婦教室内容 講話、実技(妊婦体操)、映写など
▽持参品 母子健康手帳、トレパン、テキスト、昼食

※場所はいずれも中央公民館保健相談室です。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会

へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

▽品類 布田久直さんから亡

母タカさんの香典返し

▽黒沢 大川勇蔵さんから亡

母アキさんの香典返し

▽宮前町 三沢正紀さんから

亡父鶴治さんの香典返し

▽綴子下町 成田源太郎さん

から亡父房吉さんの香典返し

▽住吉町 沢田石仁さんから

亡祖母セツさんの香典返し

▽岩脇 岩本進さんから亡母

フヨさんの香典返し

▽岩脇 九嶋喜三郎さんから

亡父文二さんの香典返し

▽松葉町 田村キツさんから

亡夫兼吉さんの香典返し

慶弔だより

6月1日 - 6月15日

■誕生おめでとうございます

長崎 忍(一) 長男 舟場

高宮 琴乃(秀樹) 長女 下町

畠山 愛美(忠春) 長女 糠沢

長岐 津美(慎治) 長女 七日市

長岐 智弥(慎治) 二男 七日市

固定資産税二期

の納期限は七月三十一日です

おくやみ申しあげます

成田 房吉(90歳) 下町

九嶋 文二(81歳) 岩脇

岩本 フヨ(73歳) 岩脇

藤原 フサ(64歳) 材木町

今島 キエ(86歳) 緑ヶ丘

岩川 與八(84歳) 松葉町

長岐 宇一郎(61歳) 七日市

武田 京(61歳) 前山

武田 万二(90歳) 今泉

小畑 陸郎(87歳) 材木町

相馬 市五郎(71歳) 下町

澤木 ミヨ(78歳) 下町

長崎 優二(樹) 長男 七日市

長崎 隆太(隆彦) 長男 緑ヶ丘

相馬 理志(順悦) 長男 高村岱

堀部 絵梨(仁司) 長女 葛黒

佐藤 綾香(智) 長女 糠沢

■二人の前途を祝福いたします

秋林 敏雄 舟見町

畠山 多鶴子 二ツ井町

佐々木 公咲 材木町

河田 香奈美 材木町

山崎 英徳 大町

高橋 宏枝 田代町

佐藤 正浩 小森

大高 純子 二ツ井町